# 品質表示基準の見直しについて

「ハム類」

# ハム類品質表示基準の見直しについて (案)

平成 2 0 年 1 0 月 2 2 日 農 林 水 産 省

## 1 趣旨

「JAS規格及び品質表示基準の制定・見直しの基準」(平成17年8月農林 物資規格調査会決定)に基づき、ハム類品質表示基準(平成12年12月19日 農林水産省告示第1647号)について、所要の見直しを行う。

## 2 内容

原材料名の砂糖類の表示方法を詳細に定める改正を行う。

改	正	案		現	行
ハム類品質表示基準 (趣旨) 第1条 (略) (定義) 第2条 (略)			スハムのうち食物 、又は包装されが 年3月31日農林が (定義)	骨付きハム、ボンレスハム、ロース 料缶詰、食料瓶詰及びレトルトパウ きものに限る。)の品質に関する表 k産省告示第513号)に定めるものの	ハム、ショルダーハム、ベリーハム及びラック チ食品に該当しないものであって、容器に入れ 示については、加工食品品質表示基準(平成12 Dほか、この基準の定めるところによる。 語の定義は、それぞれ同表の右欄に掲げるとお
				<b>⇔</b>	<b></b>
			用語	いで乾燥したもの 2 1を湯煮し、又は蒸煮したも 3 サイドベーコンのももを切り 4 1、2又は3をブロック、ス 次に掲げるものをいう。 1 豚のももを整形し、塩漬し、煙し、及び湯煮し、若しくは蒸 しくは蒸煮したもの 2 豚のもも肉を分割して整形し 煙し、及び湯煮し、若しくは蒸 しくは蒸煮したもの	
			ショルダーハム	次に掲げるものをいう。 1 豚のロース肉を整形し、塩漬及び湯煮し、若しくは蒸煮した蒸煮したもの 2 1をブロック、スライス又は次に掲げるものをいう。 1 豚の肩肉を整形し、塩漬し、	し、ケーシング等で包装した後、くん煙し、 もの又はくん煙しないで、湯煮し、若しくは その他の形状に切断したもの ケーシング等で包装した後、くん煙し、及び 又はくん煙しないで、湯煮し、若しくは蒸煮
				1 豚のばら肉を整形し、塩漬し	、ケーシング等で包装した後、くん煙し、及

(表示の方法)

第3条 名称及び原材料名の表示に際しては、製造業者等(加工食品品質表示基準第3条第1項に規 第3条 名称及び原材料名の表示に際しては、製造業者等(加工食品品質表示基準第3条第1項に規 定する製造業者等をいう。)は、次の各号に規定するところによらなければならない。

(1) (略)

#### (2) 原材料名

加工食品品質表示基準第4条第1項第2号(エを除く。)の規定にかかわらず、使用した原材 料を、アからウまでの区分により、原材料に占める重量の割合の多いものから順に、それぞれア からウまでに規定するところにより記載すること。

ア (略)

- イ 原料肉及び食品添加物以外の原材料は、次に定めるところにより記載すること。
- (7) 「食塩」、「砂糖」、「植物性たん白」、「卵たん白」、「乳たん白」、「たん白加水分 解物」、「香辛料」等とその最も一般的な名称をもって、原材料に占める重量の割合の多い ものから順に記載すること。ただし、ぶどう糖果糖液糖、果糖ぶどう糖液糖及び高果糖液糖 にあっては「異性化液糖」と、砂糖混合ぶどう糖果糖液糖にあっては「砂糖・ぶどう糖果糖 液糖」又は「砂糖・異性化液糖」と、砂糖混合果糖ぶどう糖液糖にあっては「砂糖・果糖ぶ どう糖液糖」又は「砂糖・異性化液糖」と、砂糖混合高果糖液糖にあっては「砂糖・高果糖 液糖」又は「砂糖・異性化液糖」と記載することができる。
- (イ) 使用した砂糖類が2種類以上の場合は、(ア)の規定にかかわらず、「砂糖類」又は「糖類」 の文字の次に、括弧を付して、「砂糖、水あめ」等と原材料に占める重量の割合の多いもの から順に記載し、砂糖及び砂糖混合ぶどう糖果糖液糖を併用する場合は「砂糖・ぶどう糖果 糖液糖」と、砂糖及び砂糖混合果糖ぶどう糖液糖を併用する場合は「砂糖・果糖ぶどう糖液

	び湯煮し、若しくは蒸煮したもの又はくん煙しないで、湯煮し、若しくは蒸煮したもの 煮したもの 2 1をブロック、スライス又はその他の形状に切断したもの
ラックスハム	次に掲げるものをいう
	1 豚の肩肉、ロース肉又はもも肉を整形し、塩漬し、ケーシング等で包装し
	た後、低温でくん煙し、又はくん煙しないで乾燥したもの
	2 1をブロック、スライス又はその他の形状に切断したもの

(表示の方法)

定する製造業者等をいう。)は、次の各号に規定するところによらなければならない。

加工食品品質表示基準第4条第1項第1号本文の規定にかかわらず、次に定めるところにより 記載すること。

ア 骨付きハムにあっては「骨付きハム」と、ボンレスハムにあっては「ボンレスハム」と、ロ ースハムにあっては「ロースハム」と、ショルダーハムにあっては「ショルダーハム」と、ベ リーハムにあっては「ベリーハム」と、ラックスハムにあっては「ラックスハム」と記載する こと。

イ ブロック、スライス又はその他の形状に切断して容器に入れ、又は包装したものにあっては 、アに規定する表示の文字の次に、括弧を付して、「ブロック」、「スライス」等その形状を 記載すること。

#### (2) 原材料名

加工食品品質表示基準第4条第1項第2号(エを除く。)の規定にかかわらず、使用した原材 料を、アからウまでの区分により、原材料に占める重量の割合の多いものから順に、それぞれア からウまでに規定するところにより記載すること。

ア 原料肉は、骨付きハム及びボンレスハムにあっては「豚もも肉」と、ロースハムにあっては 「豚ロース肉」と、ショルダーハムにあっては「豚肩肉」と、ベリーハムにあっては「豚ばら 肉」と、ラックスハムにあっては「豚肩肉」、「豚ロース肉」又は「豚もも肉」と記載するこ

- イ 原料肉及び食品添加物以外の原材料は、次に定めるところにより記載すること。
- (7) 「食塩」、「砂糖」、「植物性たん白」、「卵たん白」、「乳たん白」、「たん白加水分 解物」、「香辛料」等とその最も一般的な名称をもって、原材料に占める重量の割合の多い ものから順に記載すること。
- (イ) 使用した砂糖類が2種類以上の場合は、(ブ)の規定にかかわらず、「砂糖類」又は「糖類」 の文字の次に、括弧を付して、「砂糖、水あめ」等と原材料に占める重量の割合の多いもの から順に記載すること。ただし、砂糖及び砂糖混合ぶどう糖果糖液糖を併用する場合は「砂 糖・ぶどう糖果糖液糖」と、砂糖及び砂糖混合果糖ぶどう糖液糖を併用する場合は「砂糖・

糖」と、砂糖及び砂糖混合高果糖液糖を併用する場合は「砂糖・高果糖液糖」と記載すること。ただし、砂糖及び砂糖混合ぶどう糖果糖液糖を併用する場合、砂糖及び砂糖混合果糖ぶどう糖液糖を併用する場合又は砂糖及び砂糖混合高果糖液糖を併用する場合にあっては、「砂糖・異性化液糖」と記載することができる。

ウ (略)

(表示禁止事項)

第4条 (略)

果糖ぶどう糖液糖」と、砂糖及び砂糖混合高果糖液糖を併用する場合は「砂糖・高果糖液糖」と記載すること。

ウ 食品添加物は、原材料に占める重量の割合の多いものから順に、食品衛生法施行規則(昭和23年厚生省令第23号)第21条第1項第1号ホ及び第2号、第11項並びに第12項の規定に従い記載すること。ただし、栄養強化の目的で使用される食品添加物にあっては、同条第1項第1号ホ括弧書の規定にかかわらず、他の食品添加物と同様に記載すること。

(表示禁止事項)

- 第4条 加工食品品質表示基準第6条各号に掲げるもののほか、次に掲げる事項は、これを表示してはならない。ただし、(1)に掲げる事項についてはハム類の日本農林規格(昭和56年8月21日農林水産省告示第1260号)第4条に規定する規格による格付が行われたものに表示する場合、(3)に掲げる事項(品評会等で受賞したものであるかのように誤認させる用語に限る。)については品評会等で受賞したものと同一仕様によって製造された製品であって受賞年を併記してあるものに表示する場合は、この限りでない。
- (1) 「特級」、「上級」又は「標準」の用語
- (2) 前号に掲げる等級を示す用語と紛らわしい用語
- (3) 品評会等で受賞したものであるかのように誤認させる用語及び官公庁が推奨しているかのよう に誤認させる用語